

1 自己評価

(1) 令和7年度の取組

本年度は、学校教育目標「自ら考え進んで実践し、共によりよく生きる生徒の育成」のもと、つきたい力を「と・み・つ・か」を頭文字に「とりくむ力（課題対応能力）」「みつめる力（自己理解・自己管理能力）」「つながる力（人間関係形成・社会形成能力）」「かなえる力（キャリアプランニング能力）」の4つとおさえ、継続して教育活動を進めてきている。教育目標具現化のための重点目標として、次の3点を掲げて取り組んできた。

- ① 教育課程をキャリア教育（基礎的・汎用的能力）の視点で整理・精選して諸活動の意義を明確化し、振り返りを充実させる。
- ② コミュニティ・スクールの視点から、学校経営構想の目指す学校像を地域と共有し、人財を活用した教育活動を展開する。
- ③ ICTの積極的かつ効果的な活用、教育コンテンツの共有化により、教育の情報化を推進する。

(2) 学校評価から

授業参観会やTS（総合的な学習の時間）発表会、中学校2大行事である「体育大会」「文化発表会」等、保護者に生徒の成長の姿を実際に目にしていただけの機会を多く設定することができた。また、TS(総合的な学習の時間)やボランティア活動等を通して多くの地域の方に関わっていただいたことで、多くの生徒が自分が社会の役に立てているという自己有用感を感じることができた。

様々な取組の変化がある中で、例年との比較は困難な状況にあるが、経年変化を見るために例年と同様に上記の4つの生きる力にコミュニティ・スクールに関する項目を加えたアンケートを、生徒、保護者、職員を対象に実施した。また、一昨年度より「いじめ防止等のための基本的な方針」に基づく対応についての質問内容に加えた。その結果についても分析・考察をして改善を図るため、御意見をいただいた。

①成果と課題（資料参照）

学校評価の結果では、昨年度と同様に多くの項目で8割を超え、良好な指導ができており、多くの生徒が互いによりよく学校生活を送ることができていると言えるが、数値としては、減少している内容もあることを考慮しなければならない。保護者の結果からも、行事を通して仲間とのつながり深める活動ができていると感じている結果が得られた。しかし、困ったことがあったときに相談を気軽にできる人が身近にいないと感じている生徒が一部いることが結果より読み取ることができた。

各項目の達成度を見ると、本校の課題・改善すべきポイントとして以下の

項目があげられる。

○生徒版 学校評価からみる改善ポイント

とりくむ力	・目標達成のために計画を立てて実践する ・家庭学習の主体的な取組・充実を図る
みつめる力	・自分の長所、得意なことの理解を図る
つながる力	・困ったことがあった時、様々な方法を活用して伝えることができる
かなえる力	・地域の行事や活動、ボランティア活動への積極的な参加 ・自分の将来の姿を考えることができる

○保護者版 学校評価からみる改善ポイント

とりくむ力	・目標達成のために計画を立てて実践する ・家庭学習の主体的な取組・充実を図る
かなえる力	・何事にも目標をもち、それを実現しようと努力する

○教職員版 学校評価からみる改善ポイント

とりくむ力	・生徒が立てた目標を達成するために計画的に実践できるような支援 ・家庭学習の主体的な取組・充実を図る
かなえる力	・生徒が地域の行事や活動、ボランティア活動に積極的に参加できるような支援

三者の学校評価から、「目標を立てた実践」や「家庭学習」、「将来の姿を考える」ことは、本校の昨年度からの課題であり、この点については継続的に指導の改善を図る必要がある。生徒が中長期的に自分のありたい姿を見つめ、今の自分がすべきことを主体的に考えられる姿勢を育むためにも、キャリア教育のさらなる充実を図っていかなければならない。また、いじめの早期発見、そして「学校は楽しく、安心できる場所」を具現化するために、生徒が困ったことがあった際、気軽に相談できる状況を常に作っておかなければならない。

②学校評価アンケート結果を踏まえた次年度の取組

ア 目指す学校像

緑の風が吹く学校

- ・明るく温かく、個性を認め合い、だれもが心地よく生活できる学校
- ・人との関わりの中で、主体的に学び、夢や未来を描き、共に成長できる学校

イ 重点

(ア) 温かく丁寧な人との関わり

- ・土台となる生徒理解と信頼関係づくり
- ・命・体・心を守る 安心安全な環境づくり

- ・あたりまえを考えるよりよい風土づくり
- ・組織的で迅速な対応
- (イ) 教科指導・授業の充実
 - ・規律とやりとり 対話的に学ぶ授業
 - ・ICT の活用と主体的に学ぶ授業
 - ・学びの振り返りと「わかる」授業
 - ・TS(総合的な学習の時間)の継続進化
- (ウ) 工夫ある学校行事 体験を通した温かな集団づくり
 - ・縦割り活動の充実 集団での感動体験
 - ・思いあふれる学年学級づくり
 - ・40周年節目の2大行事と愛校心
 - ・持続可能な企画取組

2 学校関係者評価

2月18日(水)に開催した学校関係者評価委員会(学校運営協議会)において、自己評価結果、考察及び改善方策について委員に報告。委員からは以下のような意見があり、協議を行った。

○自己評価結果より

- ・ボランティア活動を積極的に推進しているにもかかわらず、三者ともに評価が十分とはいえないことから、活動への参加に偏りが無いかと考えられる。生徒だけでなく、保護者・教職員も含めた協力体制の充実が必要である。
- ・「学校だよりやホームページ、ブログ等による情報発信」の評価が昨年度より上昇している。
 - 行事や学校生活の様子等の情報発信の機会を増やしたことも影響していると考えられる。
- ・「学校は楽しく、安心できる場所である」の項目が昨年度より上昇している。
 - 特別な取組があったというよりも、日々の学校生活の積み重ねにより、生徒が楽しく生活できていることが、結果に表れているのではないかと考える。
- ・ホームページの閲覧結果は、保護者の学校への関心の高さの表れであり、教職員の取組が成果として示されている点は評価できる。
- ・教職員アンケート項目「生徒が地域の行事や活動、ボランティア活動に積極的に参加できるよう支援している」について、肯定的回答が50%を下回っている理由を確認したい。
 - 本校では資源物回収や地域行事、部活動の地域貢献等、継続的に地域参画が行われており、卒業後も参加する生徒がいるなど、地域との連携は定着している。昨年度末に校内で実施した別のアンケートにおいても、生徒はこれらの活動を日常の中の当たり前の取組として受け止めており、改めて「ボランティア」として強く意識していない傾向が見られた。一方で、地

域との関わりについては前向きな意見が多く、今後も継続して取り組みたいという声が多く挙げられている。

○いじめに関する結果を踏まえた本校の取組について

- ・小さなきっかけから人間関係が変化することがあるため、引き続き注意深く見守る必要がある。
- ・学校で認知されているいじめから不登校につながっている生徒がいるのか。
→いじめが直接的に不登校に結びついている事例は、現時点では認知していない。
- ・いじめとして認知されているもの以外に小さなトラブルはあるか。
→たくさんではないが、そういった小さなトラブルはある。しかし、本校の生徒は互いの違いを認め合い、話し合いにより関係を築こうとする姿勢があり、家庭においても、子供の間人間関係について助言がなされている様子がうかがえる。そのため、小さなトラブルはあるものの、仲間外れや悪口など、いじめと捉えられるような重大な事案に至るケースはほとんどない。

3 統括（学校関係者評価を受けての改善方策）

学校評価アンケートの結果から、学校職員や運営協議会等の方との熟議より、本校の強みと改善点を再確認することができた。

「人との関わりの中で、主体的に学び、夢や未来を描き、共に成長できる学校」のもと、来年度も生徒一人一人の自己実現を図っていく。自ら課題を発見し、仲間と協働しながら主体的に学んだことを活用し、解決へ向かっていく力をつけていくことができるよう支援していきたい。誰一人取り残さず、全ての人の可能性を引き出すことができるように、ICTの活用などを含めた授業改善や教育活動全体を通してコミュニティスクールとの更なる連携を進めていきたい。

また、「明るく温かく、個性を認め合い、だれもが心地よく生活できる学校」を目指す上で、「いじめ見逃し0」、「いじめ防止」については、「チーム学校」として、引き続き、全ての子供を守り抜くために取り組んでいかなければならない。いじめの「未然防止」、「早期発見」、「再発防止」のためにも、生徒の心に寄り添いながら、些細なことでも相談できる関係づくりをより大切にしていきたい。

来年度もキャリア教育の視点を軸とした教育活動を整理・見直し、地域や家庭で共に学び、支え合う社会の実現に向けて教育活動を進めていきたい。

令和7年度学校評価アンケート<生徒版>集計結果

数値は%

質問項目	学年	年度	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	グラフ
とりくむ力	授業で「知りたい」「できるようになりたい」という気持ちになった。	R6	39.5	50.4	7.7	2.4	
		R7	41.8	48.4	8.6	1.2	
	自分の考えが相手によく伝わるように発表・表現しようとしている。	R6	33.0	46.6	17.4	3.0	
		R7	28.5	52.7	17.2	1.6	
	授業では仲間の意見を聞いて、理解を深めることができた。	R6	39.9	50.0	8.4	1.7	
		R7	43.0	46.7	8.5	1.9	
目標を達成するために計画的に実践することができた。	R6	24.9	46.1	25.1	3.9		
	R7	21.5	49.8	25.9	2.8		
家庭学習では、自分に必要な学習内容を考えて進めることができた。	R6	23.9	48.7	21.2	6.2		
	R7	26.4	46.0	22.4	5.1		
みつめる力	自分の長所、得意なことを理解している。	R6	38.6	38.0	16.5	6.9	
		R7	37.9	38.4	18.7	4.9	
	学級での自分の役割をよく理解している。	R6	41.3	45.4	11.6	1.7	
		R7	38.4	42.6	17.2	1.9	
	係活動の仕事や清掃などを、自ら進んで行っている。	R6	36.0	46.5	15.0	2.6	
		R7	37.3	41.3	19.2	2.1	
部活動（校外活動含む）に意欲的に取り組み、仲間と切磋琢磨している。	R6	60.8	27.9	6.9	4.3		
	R7	55.6	34.1	7.2	3.1		
何事にも前向きな気持ちで取り組もうとしている。	R6	33.2	49.7	14.3	2.8		
	R7	36.8	46.4	15.2	1.6		
つなげる力	相手の立場に立ってコミュニケーションをとることができた。	R6	32.3	50.5	13.7	3.4	
		R7	26.5	58.3	13.1	2.1	
	行事を通じて、仲間とともに活動する楽しさが実感できた。	R6	61.4	30.9	5.4	2.4	
		R7	64.6	28.6	4.9	1.9	
	学校や学級では互いを思いやり、認め合って生活している。	R6	40.9	49.7	7.5	1.9	
		R7	44.1	47.4	7.5	0.9	
自分自身の悩みを相談できる相手がいる。	R6	46.6	32.7	13.5	7.3		
	R7	45.8	33.3	14.4	6.6		
困ったことがあった時、生活記録の日記（富中プライド）や生活アンケートなどを活用し伝えていくことができる。	R6	29.4	34.5	25.4	10.7		
	R7	32.8	37.5	23.0	6.8		
学校は楽しく、安心できる場所である。	R6	39.4	41.6	14.7	4.3		
	R7	43.7	40.4	12.9	3.1		
かなえる力	何事にも目標をもち、それを実現しようと努力できた。	R6	31.1	51.6	15.4	1.9	
		R7	27.3	52.5	18.4	1.9	
	授業や行事を振り返ることで、自分自身の成長を実感できた。	R6	35.6	50.1	11.1	3.2	
		R7	30.8	51.5	14.6	3.1	
	地域の行事や活動、ボランティア活動に積極的に参加した。	R6	20.3	24.4	28.4	26.9	
		R7	15.8	20.9	32.7	30.6	
学校で学ぶことが社会に出てからも役立つことが実感できた。	R6	38.2	44.3	15.6	1.9		
	R7	36.1	48.5	13.8	1.6		
自分の将来の姿を考えることができた。	R6	28.9	36.8	24.2	10.1		
	R7	26.0	36.6	28.1	9.2		

令和7年度学校評価アンケート＜教職員版＞集計結果

数値は%

質問項目		年度	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	グラフ
とりくむ力	授業で生徒の「知りたい」「できるようになりたい」という気持ちを引き出す工夫をしている。	R6	24.0	68.0	8.0	0.0	
		R7	11.5	80.8	7.7	0.0	
	考えが相手によく伝わるように生徒の発表・表現の仕方を支援している。	R6	20.0	68.0	12.0	0.0	
		R7	19.2	69.2	11.5	0.0	
	授業でコミュニケーション活動を積極的に取り入れている。	R6	44.0	40.0	12.0	4.0	
		R7	34.6	50.0	15.4	0.0	
生徒が立てた目標を達成するために計画的に実践できるよう支援している。	R6	16.7	62.5	16.7	4.2		
	R7	4.0	68.0	28.0	0.0		
生徒が家庭学習で、自分に必要な学習内容を考えて進めることができるよう支援している。	R6	12.0	52.0	32.0	4.0		
	R7	12.0	60.0	28.0	0.0		
みつめる力	生徒が自分の長所、得意なことを理解できるよう支援している。	R6	23.1	73.1	0.0	3.8	
		R7	23.1	65.4	11.5	0.0	
	生徒が学級での自分の役割をよく理解できるよう支援している。	R6	23.1	65.4	7.7	3.8	
		R7	16.0	80.0	4.0	0.0	
	生徒が係活動の仕事や清掃などを自ら進んで行うよう促している。	R6	30.8	50.0	15.4	3.8	
		R7	24.0	72.0	4.0	0.0	
生徒が部活動に意欲的に取り組み、仲間と切磋琢磨できるよう支援している。	R6	46.2	53.8	0.0	0.0		
	R7	24.0	68.0	8.0	0.0		
生徒が何事にも前向きな気持ちで取り組むことができるよう支援している。	R6	42.3	53.8	3.8	0.0		
	R7	36.0	60.0	4.0	0.0		
つながる力	生徒が相手の立場に立ってコミュニケーションが取れるように支援した。	R6	30.8	65.4	3.8	0.0	
		R7	24.0	60.0	16.0	0.0	
	行事を通じて、仲間とともに活動する楽しさが実感できるように支援した。	R6	50.0	46.2	0.0	3.8	
		R7	52.0	48.0	0.0	0.0	
	学校や学級では互いを思いやり、認め合って生活できるように支援している。	R6	53.8	42.3	0.0	3.8	
		R7	32.0	64.0	4.0	0.0	
生徒は自分自身の悩みを相談できる相手がいると考える。	R6	19.2	65.4	15.4	0.0		
	R7	16.0	72.0	12.0	0.0		
生徒が学校は楽しく、安心できる場所となるように支援している。	R6	38.5	53.8	3.8	3.8		
	R7	22.2	74.1	3.7	0.0		
かなえる力	生徒が何事にも目標をもてるよう支援している。	R6	26.9	65.4	7.7	0.0	
		R7	7.7	88.5	3.8	0.0	
	生徒が自己の成長を実感できるよう、授業や行事の振り返りを工夫している。	R6	26.9	57.7	11.5	3.8	
		R7	24.0	64.0	12.0	0.0	
	生徒が地域の行事や活動、ボランティア活動に積極的に参加できるよう支援している。	R6	15.4	61.5	19.2	3.8	
		R7	12.0	36.0	40.0	12.0	
学校で学ぶことが社会に出てからも役立つことを生徒に語っている。	R6	53.8	42.3	0.0	3.8		
	R7	44.0	48.0	8.0	0.0		
生徒が自分の将来の姿をイメージできるように支援している。	R6	38.5	50.0	7.7	3.8		
	R7	20.0	52.0	24.0	4.0		
コミュニケーション・スキル	家庭との相互理解のために電話連絡や家庭訪問を積極的にしている。	R6	34.6	57.7	3.8	3.8	
		R7	36.0	52.0	4.0	8.0	
	学校は便りやホームページ、ブログ等で情報をよく発信している。	R6	23.1	57.7	15.4	3.8	
		R7	64.3	32.1	0.0	3.6	
	三者面談や教育相談で生徒や保護者に具体的なアドバイスをしている。	R6	26.9	65.4	3.8	3.8	
		R7	16.0	76.0	8.0	0.0	
生活記録の日記や生活アンケートなどを活用し、子供の心の変化やいじめの早期発見に努めている。	R6	30.8	61.5	3.8	3.8		
	R7	40.0	56.0	0.0	4.0		
子供の様子で気になる点が見られた際、迅速な対応に努めている。	R6	53.8	42.3	0.0	3.8		
	R7	57.7	42.3	0.0	0.0		
様々な活動で目指す学校像、活動の意義を伝えるよう努めている。	R6	34.6	57.7	3.8	3.8		
	R7	30.8	61.5	7.7	0.0		
他		R6					
		R7					

令和7年度学校評価アンケート＜保護者版＞集計結果

数値は%

質問項目		学年	年度	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	グラフ
とりくむ力	学校は、子供が前向きに学習に取り組めるよう授業を工夫している。	全校	R6	27.9	61.4	10.2	0.5	
			R7	26.3	62.8	9.7	1.2	
	子供は、目標を達成するために計画的に実践している。	全校	R6	19.4	51.7	24.7	4.2	
			R7	21.4	48.9	25.1	4.6	
	子供は、家庭学習で自分に必要な内容を考えて進めている。	全校	R6	15.5	43.9	31.6	9.0	
			R7	17.0	40.4	32.8	9.7	
みつめる力	子供は、自分の長所・得意なことを理解している。	全校	R6	24.7	63.0	11.3	0.9	
			R7	25.8	61.8	11.7	0.7	
	子供は、部活動（校外活動も含む）に意欲的に取り組み、仲間と切磋琢磨している。	全校	R6	51.5	37.9	6.7	3.9	
			R7	50.9	37.7	7.3	4.1	
	子供は、何事にも前向きな気持ちで取り組もうとしている。	全校	R6	24.7	58.2	15.9	1.2	
			R7	23.1	59.9	15.1	1.9	
つながる力	子供は、相手の立場に立ってコミュニケーションをとっている。	全校	R6	32.6	55.2	11.8	0.5	
			R7	29.0	61.6	8.3	1.2	
	子供は、行事を通じて、仲間とともに活動する楽しさを実感している。	全校	R6	49.0	42.7	6.5	1.8	
			R7	49.9	44.3	4.4	1.5	
	子供にとって学校は楽しく、安心できる場所となっている。	全校	R6	37.2	53.8	6.0	3.0	
			R7	37.0	54.3	6.1	2.7	
かなえる力	子供は、何事にも目標をもち、それを実現しようと努力している。	全校	R6	19.9	54.0	22.6	3.5	
			R7	22.4	53.8	21.9	1.9	
	学校は、学ぶことの意義を十分に伝えようとしている。	全校	R6	25.2	61.7	12.2	0.9	
			R7	22.9	65.2	10.0	1.9	
	学校での様々な活動において、子供の成長を実感している。	全校	R6	43.0	50.1	6.2	0.7	
			R7	43.6	51.3	4.1	1.0	
コミュニティ・スキル 他	子供は、地域の行事や活動、ボランティアに積極的に参加した。	全校	R6	23.6	33.5	28.9	14.1	
			R7	24.1	32.4	29.7	13.9	
	学校便りやホームページ、ブログ等で情報をよく発信している。	全校	R6	24.2	60.7	14.1	0.9	
			R7	30.7	59.9	8.5	1.0	
	学校は、三者面談や教育相談が充実しており、相談しやすい。	全校	R6	23.3	62.4	13.4	0.9	
			R7	22.6	63.0	13.1	1.2	
	学校は、生活記録の日記や生活アンケートなどを活用し、子供の心の変化やいじめの早期発見や把握に努めている。	全校	R6	21.7	64.0	12.0	2.3	
			R7	23.4	61.8	12.4	2.4	
	学校は、子供の様子が気になる点が見られた際、迅速な対応に努めている。	全校	R6	23.6	61.7	13.2	1.6	
			R7	25.3	59.9	12.9	1.9	
	学校の活動から、目指す学校像、活動の意義を感じることができる。	全校	R6	23.1	67.7	8.3	0.9	
			R7	22.1	66.9	9.2	1.7	